

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所  
ホタテガイ振興室、漁場環境部  
青森県 東青地方水産事務所  
下北地方水産事務所  
水産振興課  
青森市水産振興センター

# ホタテガイ養殖管理情報

## 高水温年だった昨年並みのペースで水温が上昇しています 施設は下層に沈めたまま動かさないでください

### 1 海況

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図1、8月7日時点の陸奥湾中層(10~15m層)の日平均水温は図2(次ページ)のとおりで、25℃を超えるところが見られてきました。

また、ブイロボ15m層では高水温年だった昨年と類似した水温の推移となっており、7月中旬には20℃を超え、ホタテガイに影響する高水温の始まりが平年より早まっています。各地の水温観測ブイでも平年を大きく上回っています。

### 2 へい死メカニズム

#### (1) 新貝・成貝

水温が20℃で成長はストップし、それ以降は中腸腺(ウロ)や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、23℃を超えるとエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死します。また、27℃以上になると、鰓による呼吸ができなくなり、急死します(図3)。

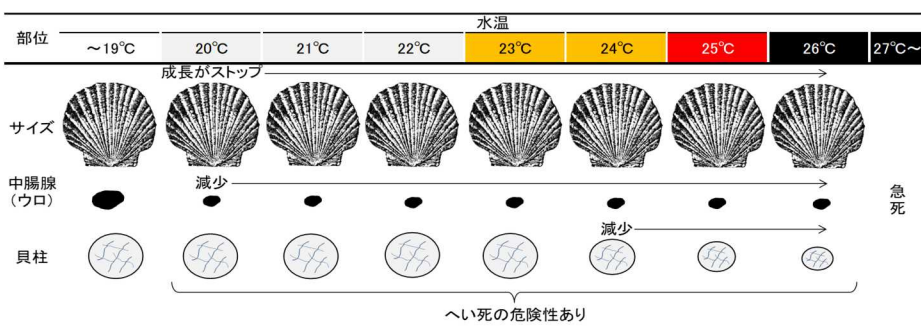


図3 新貝の成長と生残率に与える水温の影響

#### (2) 稚貝

水温が23℃を超えると成長は鈍り、25℃で成長がストップし、26℃を超えるとエネルギー不足からへい死の危険性が高まります。また、27℃以上になると、鰓による呼吸ができなくなり、急死します(図4)。

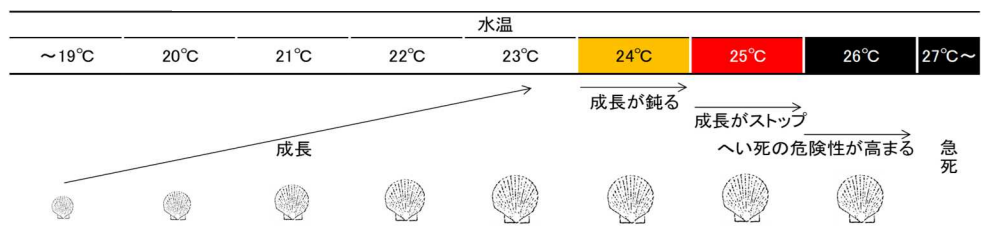


図4 稚貝の成長と生残率に与える水温の影響

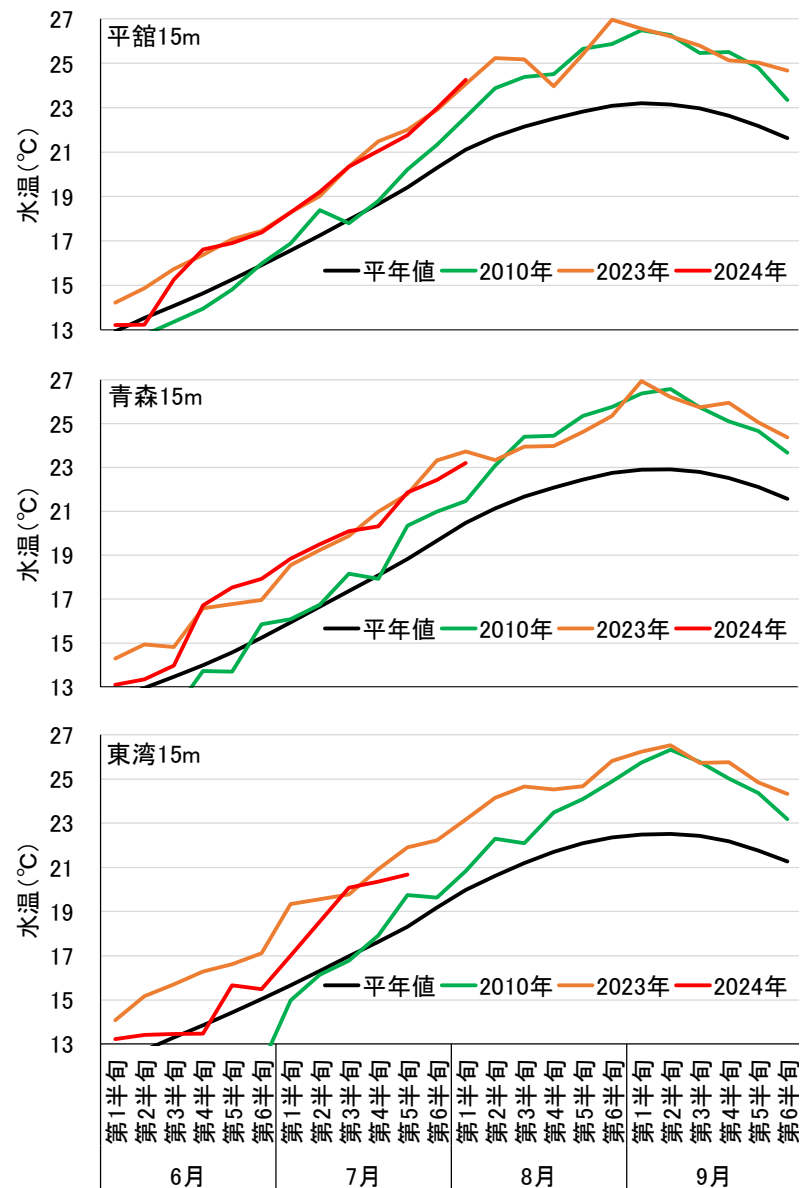





図1 海況自動観測ブイでの15m層の半旬  
※東湾ブイの7月第6半旬以降は欠測、暫定値を含む

### 3 養殖管理の注意点

水温は今後、さらに上昇することが予想されます。水温の状況は陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり(下記URL、QRコード)を参考にしてください。

高水温時に施設を上げ下げすると貝はへい死しやすいので、出荷以外の施設は水温の低い下層に沈めたまま動かさないでください。体力の消耗を抑えるために、玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わないでください。玉付け作業を行わないで養殖籠が海底に着くと、下段はへい死しますが、全滅する危険性は減ります。

発行元：地方独立行政法人  
青森県産業技術センター 水産総合研究所  
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：[https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui\\_sougou/](https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/)  
ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード (1) ①   
海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード (2) ②   
ほたてナビ スマートフォン用QRコード (3) ③ 

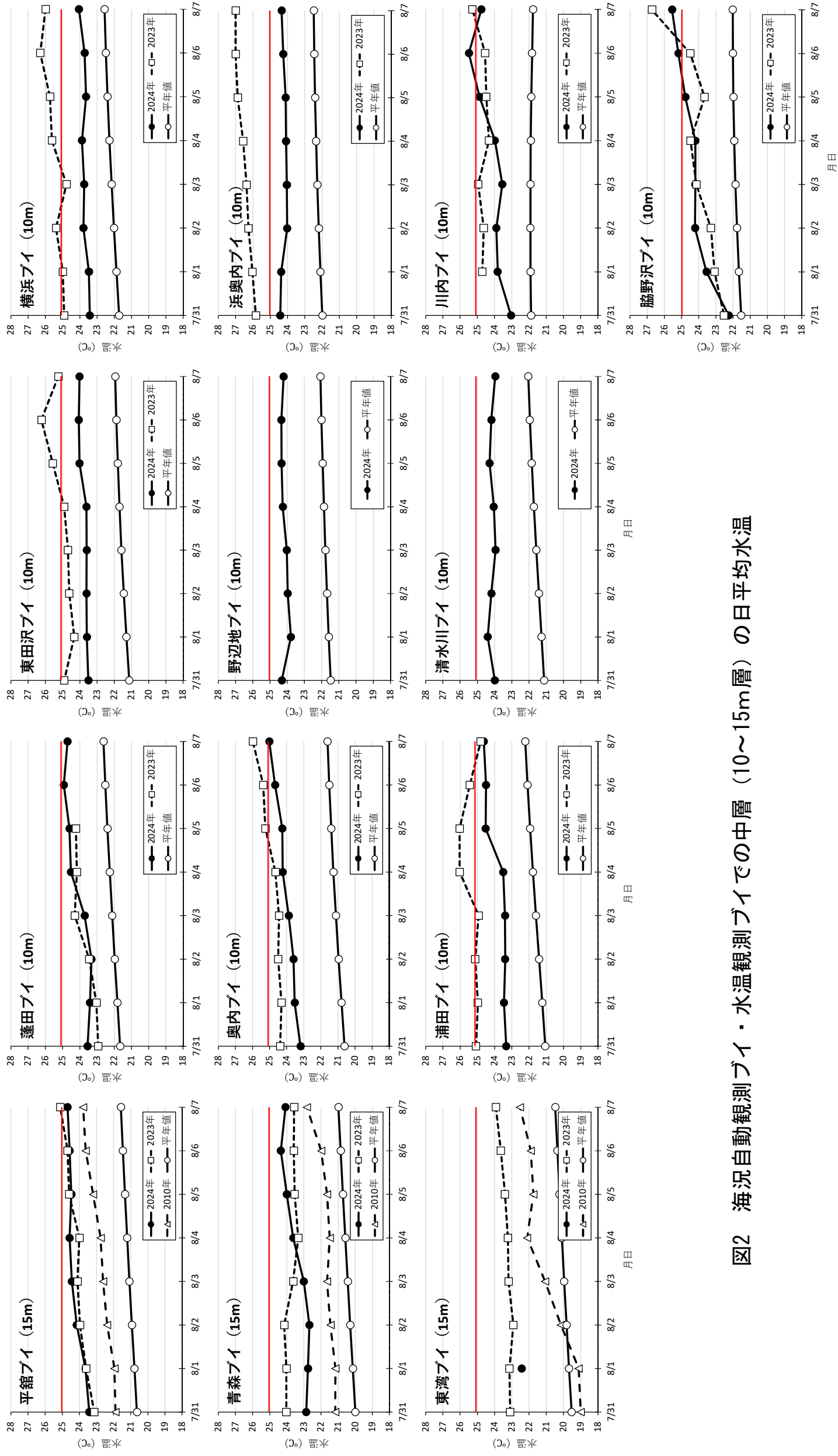


図2 海況自動観測ブイ・水温観測ブイでの中層（10～15m層）の日平均水温